

令和元年度 第2回江南市国民健康保険運営協議会 会議録

● 日 時 令和元年11月14日(木) 午後2時～午後3時10分

● 場 所 江南市役所 本庁舎3階 第3委員会室

● 出席者 出席委員13名

| | | | | |
|-------------|-------|-------|------|------|
| 被保険者代表 | 大竹典子 | 西川よし子 | 原 朋子 | 佐藤 昇 |
| 療養取扱機関代表 | 渡部敬俊 | 村瀬範高 | 近藤茂樹 | 鬼島清貴 |
| 公益代表 | 服部正三郎 | 今井敦六 | 古田嘉且 | 江口 勲 |
| 被用者保険等保険者代表 | 中村美葉子 | | | |

傍聴者数 0名

- 議 題
- 1 議事録署名者の選出
 - 2 議題
 - ・江南市国民健康保険率の改定について
 - 3 その他

■議事

| | |
|-----|--|
| | <p>【1. 議事録署名者の選出】</p> <p>【2. 議題】</p> |
| 会長 | 「江南市国民健康保険税率の改定について」、事務局より説明をお願いします。 |
| 事務局 | (資料に基づき説明) |
| 会長 | ただいま、事務局の方から説明がございましたけれども、まず、納付金等の概要と保険税率の推計について、ご質問・ご意見等はございますでしょうか。 |
| 委員 | 江南市の保険税率は、県が示す標準保険料率より高いのか低いのか、そのあたりを示していただけますでしょうか。 |
| 事務局 | 令和元年度の江南市の保険税率と、県から示された令和元年度の標準保険料率を比較しますと、医療分の所得割は、江南市 5.2%に対して、標準保険料率 6.89%、資産割は、江南市が 12.5%で、標準は 0%、均等割は、江南市 19,600 円に対して、標準が 27,951 円、平等割は、江南市 19,000 円に対して、標準が 19,847 円、支援分ですが、所得割は、江南市 1.83%に対して、標準が 2.26%、資産割は、江南市が 4%で、標準は 0%、均等割は、江南市 6,000 円に対して、標準が 9,074 円、平等割は、江南市 5,000 円に対して、標準が 6,444 円、介護分ですが、所得割は、江南市 1.55%に対して、標準が 1.66%、資産割は、江南市が 2%で、標準は 0%、均等割は、江南市 9,000 円に対して、標準が 8,658 円、平等割は、江南市 7,000 円に対して、標準が 4,111 円となっております。 |
| 会長 | 県が示す標準保険料率では、資産割は 0%ということですが、現状において、江南市では資産割を賦課している分、所得割が低いということですよ。令和 2 年度以降は、資産割を廃止する分、所得割が高くなっていくということなり、県の標準保険料率に近づいていくという理解でいいわけですね。 |

| | |
|-----|---|
| 事務局 | <p>応能割と応益割の比率は52：48が適当であると考えられておりますが、江南市の場合はこの比率と開きがありますので、資産割を所得割、均等割、平等割に転嫁するとともに、その比率も是正していく必要があると考えております。</p> |
| 会長 | <p>法定賦課限度額は96万円という説明でしたが、他の市町村の状況はどのようなになっているのでしょうか。</p> |
| 事務局 | <p>医療分のみが、まだ、法定賦課限度額に達していない市町村が20近くありますが、ほとんどの市町村が、来年度には、医療分の限度額を61万円に上げるのではないかと思います。</p> |
| 委員 | <p>令和2年度は、法定賦課限度額は上がるのですか。</p> |
| 事務局 | <p>国は、令和2年度の法定賦課限度額を3万円上げる方向で検討を進めており、現在の96万円から99万円になるのではないかと考えております。</p> |
| 委員 | <p>法定賦課限度額が99万円に上がる場合、江南市はどう対応するのですか。</p> |
| 事務局 | <p>江南市も法定賦課限度額に準ずるべきであると考えております。</p> |
| 会長 | <p>一覧表を見る限りは、江南市の限度額は上限になっているので、多くの市町村と同じ状況ですね。</p> |
| 事務局 | <p>江南市の賦課限度額は、昨年度から法定賦課限度額にあわせております。</p> |
| 委員 | <p>令和2年度以降の保険税率の推計において、納付金の総額が減って、1人当たりの納付金額が増えているということは、被保険者数が前年度から減少していることが要因ということですか。</p> |
| 事務局 | <p>被保険者数が約5%減少する一方で、医療給付費の減少により納付金は微減となっており、結果として1人当たりの納付金で見ると増加している状況となっています。</p> |

| | |
|-----|--|
| 委員 | <p>他市町で資産割を残しているところがありますが、理由がわかるようでしたら教えてもらえますか。</p> |
| 事務局 | <p>資産割については、ほとんどの市町村が最終的には廃止を目指す中で、江南市も含めた複数の市町が段階的に廃止することとしていますことから、現時点では資産割が残っているところがあるという状況でございます。</p> |
| 会長 | <p>被保険者が前年度対比で5%ほど減少している要因の1つとして、社会保険の適用拡大もあると思われませんが、このことで、さらに被保険者が減っていくと、1人当たりの納付金推計で1.31%増と見込まれているものが、さらに増加すると見ることもできると思いますが、そのあたりはいかがでしょうか。</p> |
| 事務局 | <p>被保険者の減少については、人口の構造的な要因に加えて中小規模の事業者に対する被用者保険の適用拡大という政策的な要因も重なってくる可能性があるということはおっしゃるとおりです。その場合は、若年で所得がある程度あって、かつ、医療機関にあまりかからない方が、国民健康保険から抜けていってしまうことになるため、1人当たりの納付金も今以上に増えてしまうことが予想されます。</p> |
| 委員 | <p>今、市の方から保険税率の推計が提示されているわけですが、最終的には議会で決まることなのですか。</p> |
| 事務局 | <p>1月に、新税率についての「諮問」をこの運営協議会に対して行う予定で、運営協議会の協議結果を「答申」という形で返していただき、その「答申」を議会資料に添付して、定例会に諮るという流れになります。</p> |
| 委員 | <p>江南市の一般会計の税収の増減は、国保財政の運営に影響するのでしょうか。</p> |
| 事務局 | <p>現状は、市の一般会計から国民健康保険の特別会計に対して法定繰入れと法定外繰入れを行っていますが、法定については今後も繰入れが認められるものの、法定外については、削減することが求められているもので、一般会計の税収の増減にかかわらず、削減する法定外繰入れ分を保険税でまかなわなければならないという考え方になります。</p> |

| | |
|------------|---|
| <p>会長</p> | <p>モデルケースを見てもらうとわかるように、全体的に保険税負担は増えることになり、さらに、固定資産税がない方については、資産割の廃止によって固定資産税がある方から転嫁される分が増えるという理解で良いですよ。</p> |
| <p>事務局</p> | <p>そのとおりでございます。</p> |
| <p></p> | <p>【3.その他】</p> |
| <p>会長</p> | <p>最後に、次第3の「その他」ですが、事務局から何かありましたらお願いします。</p> |
| <p>事務局</p> | <p>今回の会議の日程の件になりますが、年明けに、愛知県から本算定の納付金が示されることになっておりますので、来年1月16日（木）午後2時30分からの開催を予定しております。県からの確定納付金の提示を受けまして、新税率を検討していただくために「税率改定の諮問」をさせていただきたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。</p> |
| <p>会長</p> | <p>今回は、税率の見直しについて検討していくということでございます。年始でお忙しいとは思いますが、委員の皆様にはご出席をいただき、ご意見をうかがいたいと考えておりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。</p> |
| <p>事務局</p> | <p>それでは、以上をもちまして、国民健康保険運営協議会を閉会といたします。本日は、ありがとうございました。</p> <p style="text-align: center;">《令和元年度 第2回 江南市国民健康保険運営協議会 終了》</p> |